

ハザードマップの使い方

高潮(海面が とても 高くなること)ハザードマップは 海の水が あふれて 家が 水につかるかもしれないところや 逃げる ところの 情報 を 書いています。ふだんから 住んでいる ところの あぶない ところや情報を知る 方法、逃げるときに 気をつけることを 確認しておいて ください。高潮が くるかもしれないときはいそいで あぶない ところから 逃げてください。

家族で 話し合おう

何か あったときに あわてないよう 高潮がくる前から 準備をして おいてください。どうしたら いいか、家族や 地域(住んでいる ところ)で 話し合っ て おきましょう。

① 自分の家や 逃げる ところを 確認して ください。
道や 学校や みんなが使う ところがある ところや、見て、どこに 自分の家や 逃げる ところがあるかを 確認してください。

② 高潮が きたときに あぶなくなる ところを 確認して ください。
自分の 家の 近くにある 水路(小さな 川)・港(船や 海・川の出入り口)など 高潮のとき あぶない ところを 確認してください。

③ あぶない ところは 通らないで、 逃げる道を 決めて ください。
②で 見た あぶない ところは 通らないで 逃げる 道を 決めて ください。

④ 実際に 逃げる 道を 歩いて 安全を 確認して ください。
家族や 地域(住んでいるところ)の 人と 話して 実際に 歩いてみて ください。 逃げる 道に あぶない ところがある ときは 逃げる 道を 変えて ください。

⑤ 何か あったときに 持ち出す ものの 準備を して ください。
右側に 書いた「何か あったときに 持ち出すもの(たとえば)」を見て 逃げる ときに 持ち出すものを 準備して ください。

⑥ 自分の家の 防災メモに 書いて ください。
ハザードマップに 書かれた ところや 逃げる ところや 家族の なまえや 電話番号などを 書いて ください。

高潮とは?・高潮と 津波の 違いは?

高潮は どうして 起こるの?

高潮とは 台風や 強い 低気圧により海面の高さが いつもより とても 高くなることです。海面が 高くなっているときに 高波がくると、海水が 堤防(住んでいるところに)川や 海の水が 入らないように つくったものを越えることがあり、家が 水につかるかもしれません。つかりやすいのは 海岸近くの ゼロメートル地帯(満潮時の 海の高さより 低いところ)、奥のほうに 狭くなっている 湾や 急に 深くなる 海底の 形になっている 海岸です。高潮は 強い低気圧によって 海面が 吸い上げられたり、強い風によって、海水が 吹き寄せられたりして 起きます。

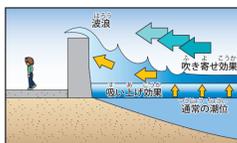
海面の 吸い上げ

台風や 強い 低気圧によって、海面が 吸い上げられ 海面が 高くなります。



風による 吹き寄せ

台風や 強い 低気圧によって、強風が 海岸に 吹き 続けると 海面が 高くなります。



高潮と津波の違い

高潮は 台風や低気圧によって 起きます。津波は 地震や 海底火山の 活動によって 起きます。台風や 低気圧は くるのが わかるので、津波より 高潮のほうが 起きるかどうか わかりやすいです。

高潮のとき 出される 情報の 内容・避難するときの行動

警戒レベル	市民のみなさんが とるべき行動	西尾市	気象庁等
5	<p>危険なところから まだ 逃げていない 人は、命を守るために 一番よい 行動をしてください 命が 危なくなっています。逃げるのが 遅くなったときは 命を守るように してください</p>	<p>緊急安全確保 (一番に 安全を保つ) 災害が もう 起きていて 危ないです。安全に 命を守って ください。</p>	<p>高潮氾濫発生 情報 (高潮がきています)</p>
4	<p>危険なところから みんな 避難が終わる 強い風や 道路が 水であふれて 逃げるのが できなくなる前に 逃げる ■はやく逃げるところや 安全なところへ 逃げるか 外に出ないで命を守る ■外へ出て 命が危ないときは 近くの安全なところや、自分の家の中の 一番安全な ところへ 逃げてください。 ■みんなで 助け合って 逃げて ください。</p>	<p>避難指示(逃げて ください) 被害が 起きるかもしれません みんなが 逃げ終わる</p>	<p>高潮警報 または 高潮特別警報</p>
3	<p>年をとった人は 急いで 逃げる ■いつでも 逃げるのが できるように 準備を してください ■正しい 情報を 得てください ■年をとった人や 身体の不自由(動かしにくい)人は、 逃げはじめてください</p>	<p>高齢者等避難 (年をとった人は 逃げる) 被害が 起きるかもしれません 逃げることに 時間がかかる人は 逃げはじめる</p>	<p>高潮警報に 切り替える 可能性が高い 注意報</p>

水平避難(危ないところからはなれる)と垂直避難(高いところへ逃げる)

災害では 早めに 逃げるのが 大切です。でも、もう、高潮が 起きているという 情報が出ていたら むりに 逃げることは やめて ください。そのようなときは、逃げて ください という情報が 出てくても あぶない ところからは なるだけ 出て、高い 建てるのや自分の 家の 2階などの 高い ところへ 逃げて(垂直避難)ください。

大きな石が 落ちたり けがが するかもしれない ところから 山と 反対側の 2階以上へ 逃げる 命を守る 行動をする!!

逃げる ところへ 逃げられないときは、近くの 建てるもの、高いところや 自分の 家の 2階以上の ところへ 逃げて、助けてもらう ことも 考えて ください。

出される 高潮の 危険レベル情報

高潮氾濫発生情報
水位周知海岸(高潮によって 被害が 起きるかもしれない 海岸)において、観測所(ようすを 詳しく 見て、調べている ところ)の 海面の高さが 高潮特別警戒水位(特に気をつけなければならない 高さ)になったときに 出します。

高潮特別警報
数10年に1度 来るような 強い台風や低気圧によって 高潮になると 考えるときに 出します。

高潮警報
台風や低気圧によって海面の高さが とても高くなり、大きな災害が 起こるかもしれないとき 出します。

高潮注意報
台風や低気圧によって 海面の高さが、とても高くなり、災害が 起こるかもしれないとき 出します。高潮注意報には 2つのレベルがあり 警報になることが 高いものは警戒レベル3になり、そまでは ならないものは 警戒レベル2に なります。

早期注意情報・警報クラス
気象庁は、5日前から 警報クラスの 高潮、暴風、波浪、大雨が 来そうときに 早期注意情報を出しています。 出した後の ようすに 気をつけてください。

わが家の防災メモ・何か あったとき 持ち出すもの

集合場所(逃げる ところ)

どのような災害か	集合場所(逃げる ところ)	逃げる ところの なまえ(1番目)	逃げる ところの なまえ(2番目)

家族の 連絡先
※安全な ところに 住んでいる 親戚・知合いの 人も 書いて ください。

家族の なまえ	電話番号	メールアドレス

何かあったときに 持ち出すもの(たとえば)

- 持ち出すものを 入れて 用意しておく 袋
- 食べ物
 - 乾パン、ビスケット(保存食)
 - 飲み水
 - 着るもの
 - 上着
 - 下着
 - 靴下
 - ブランケット
 - 生活で 使うもの
 - 懐中電灯
 - 携帯ラジオ
 - ティッシュペーパー
 - 軍手、手袋
 - コンタクトレンズ
 - 入れ歯
 - きれいに 生活するためのもの
 - タオル
 - トイレトイレットペーパー
 - マスク
 - 紙おむつ
 - 生理用品
 - 簡易トイレ
 - 病気のときに 使うもの
 - 薬が入っている袋
 - 薬、お薬手帳
 - 大切なもの
 - 現金(硬貨も)
 - 貯金通帳、はんこ
 - その他
 - ヘルメット

備蓄品
3日分(できれば1週間分)のものを用意し 家や 自分の 車の中に 入れておいてください。
何かあったときのために 準備して おくもの(たとえば)

- 飲み水(1人1日おおよそ3L)
- 食べもの(米、インスタント麺、レトルト食品、チョコレートなど)
- 燃料(カセットコンロ、予備のボンベ、ランタンなど)
- 毛布、タオルケット、寝袋
- 洗面用具
- なべ、やかん
- わりばし、紙ざら、紙コップ等
- ラップ、アルミホイル
- ウェットティッシュ、トイレトイレットペーパー
- 生理用品
- 消毒用エタノール
- 安全靴
- ブルーシート
- 新聞紙
- 使い捨て、カイロ
- 簡易トイレ
- 予備のめがね、補聴器、つえ
- 工具類(ロープ、スコップ)

ローリングストック
準備する食べもの・飲み水の 保存できる 期限が 切れる前に 使い、その分だけ 定めて、いつも ストックがあることを 「ローリングストック」といいます。古い ものから 使うことで、むだを出さず、 また、使うときに 期限が 切れ ないようにします。

情報を 得る 方法

何かあったときは、テレビやラジオ、インターネットから 進んで 気象情報や 逃げる情報を 得るようにしましょう。また、ハザードマップに 書いてある 逃げる ところは ハザードマップを つくったときから、変わっていることが あるため、新しい 情報については、西尾市防災アプリや ホームページを 確認して ください。情報は 普段から 見ておいてください。

情報を得る
自分で 情報を 得てください。

防災無線
市内にあるスピーカーから、災害の様子や、逃げる ところの 情報を 知らせます。

テレビ・ラジオ放送
テレビ・ラジオで 緊急(すぐに 行動するための)放送 や 文字で 出します。また、災害が 起きたときに、役所からの 防災情報を 地上デジタル放送のデータ放送で 見ることが できます。リモコンのdボタン(データ放送)を 押して ください。

インターネット
下に 書いた、ホームページから 市の防災の 取り組みや 災害や防災の 情報をお知らせします。

西尾市防災アプリ・防災メール
西尾市の 防災情報の スマートフォンアプリを 送っています(ダウンロードしてください)。防災放送の内容や、逃げる ところ、ハザードマップを 見ることが できます。防災メールで 防災放送の内容を 見ることが できます。(災害が起こる 前に 登録して ください)

西尾市ホームページ
<https://www.city.nishio.aichi.jp/>

西尾市ツイッター
https://twitter.com/nishio_city

西尾市フェイスブック
<https://www.facebook.com/kohonishio/>

西尾市LINE公式アカウント
@nishiocity

愛知県防災安全局ホームページ
<https://www.pref.aichi.jp/bousai/>

名古屋地方気象台
<https://www.jma-net.go.jp/nagoya/>

気象庁キキクル(危険度分布)西尾市
https://www.jma.go.jp/bosai/#area_type=class_20s&area_code=2321300&pattern=rain_level

防災無線(スピーカー)の内容が 電話で わかる
防災無線(スピーカー)が 知らせる 情報の 内容が 電話で 確認 できます。電話番号は ☎0120-96-8111(通話料無料)です。

緊急速報メール
携帯電話の「エリアメール」(緊急速報メール)を使って、避難指示(逃げて ください)や 避難情報(逃げるときの お知らせ)、警戒区域情報(気をつけなければならない ところ)、その他の 緊急情報(急ぎの ときのお知らせ)を西尾市に いる人に知らせます。情報の 受け取り方は、使っている 携帯電話会社の ホームページを見てください。

災害を 知らせる 西尾市の車
災害のときに 市内を走って スピーカーで 注意します。

情報の 伝え方
高潮の 被害が 起きるかもしれないときは、気象庁や西尾市から、防災無線やアプリ、メール、ツイッターで情報を 出します。

西尾市 防災無線(緊急安全確保(もう 安全に 逃げるのが できず 命が あぶないです))

西尾市 避難指示(かならず 逃げてください)

西尾市 高齢者等避難(年をとった人や 逃げるのに 時間がかかる人は 逃げる)

気象情報

市民のみなさん

防災無線
西尾市防災アプリ・防災メール
緊急速報メール(エリアメール)
ホームページ・ツイッター・フェイスブック・LINE公式アカウント
西尾市の車・消防団からの放送
報道(テレビ・ラジオなど)

災害の ときの伝言(こはを 伝える)ダイヤル 171(NTT 東日本)

生きているかどうか 確認をすることや 逃げて いるところを 伝言(こは)で伝える) できます。

使う 方法

171 ダイヤルガイダンス(案内)が流れます。

伝言を 録音 するときは 1

伝言を 聞く ときは 2

市外局番から電話番号を入力
災害に あったところに いる人は、自分の家の 電話番号を入力 してください。災害が ないところに いる人は、災害に あった ところに いる人の 電話番号を 市外局番から 入力してください。(※区別) 区別

これまでに起きた 高潮による 被害

伊勢湾台風
1959年9月の 伊勢湾台風では 死んだ人・行方不明な人が 5,000名を 超えました。それまでの 観測で 一番高い 3.55mの高潮でした。ゼロメートル地帯が 広い 愛知県と 三重県の濃尾平野に高潮が 来て、西尾市も 被害を受けました。

伊勢湾台風より 前に 起きた 高潮の 被害を 伝えるもの

宝珠院の 門の前には 宝珠院(海潮記念碑・三井異雲碑) 大島八幡社には、大島八幡社

正法寺の 門の前には 正法寺(津波の標、高潮標) 宝珠院の 門の前には 宝珠院(海潮記念碑・三井異雲碑) 大島八幡社には、大島八幡社

高潮の高さを 刻んだ 碑(石の柱)が 2本 1889年(明治22年)の 高潮の 被害を 伝える 「海潮(かいしやう)または、 つなみ記念碑」が あります。この碑は、高い ところで、約4.6mの 高さの 海水が 押し寄せたことや 堤防がほとんど 流されたことなどを 伝えています。

1889年(明治22年)の 高潮の 被害を 伝える 「海潮(かいしやう)または、 つなみ記念碑」が あります。この碑は、高い ところで、約4.6mの 高さの 海水が 押し寄せたことや 堤防がほとんど 流されたことなどを 伝えています。

1889年(明治22年)の 高潮の 被害についての 記念碑と、1953年(昭和28年)の 台風13号 についての 記念碑が あります。

愛知県防災局防災危機管理課ホームページ「歴史地誌記録に学ぶ防災・減災サイト」より